

《所員一同「心をひとつに」、地域の皆さまに信頼され、ご安心いただける発電所を目指してまいります》



女川原子力発電所長
若林 利明

地域の皆さまにおかれましては、日ごろより女川原子力発電所の運営にご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

当発電所では現在、より高いレベルの安全確保に向けて、最新の知見も取り入れながら、設備面での安全対策工事や、万が一に備えた、各種訓練等の運用面での対策にも鋭意取り組んでいます。

今後も、所員一同「心をひとつに」、自分たちの仕事に誇りを持って、さらなる安全性の向上に向けて万全を期してまいります。

また、地域の皆さまに信頼され、ご安心いただけるよう、所員一人ひとりが「地域に貢献する」という強い信念を持って、日々の業務にあたるとともに、より一層、きめ細かな対話活動や情報提供に努めてまいりますので、本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

《発電所員より～新年の抱負～》

女川原子力発電所では、安全性向上に向け、万が一、重大事故が発生した場合でも、放射性物質の大量放出を防ぐための「フィルター付格納容器ベント装置」や、全ての電源を失った時でも、原子炉へ注水することができる「高圧代替注水設備」など、新たな安全対策設備の設置工事を進めています。

私は、これらの新たに設置する設備や従来からある設備が正常な状態を維持できるよう、点検時期や点検方法などの計画作りに取り組んでいます。

地域の皆さまに信頼していただくためには、さまざまな安全対策設備の設置に加え、設備が本来の機能を十分発揮できるよう、常日ごろからの適切な保守・管理が重要であると考えています。今年も誠心誠意、日々の業務に取り組んでまいります。



保全部 保全計画グループ
清水 敬輔(青森県出身)

《女川原子力発電所1号機の廃止に伴う発電事業変更届出書の提出について》

当社は、女川原子力発電所1号機の廃止日を2018年12月21日付けとし、同日、電気事業法に基づき、女川原子力発電所の発電事業変更届出書^{※1}を経済産業大臣宛てに提出しました。

女川1号機が、発電用の設備としての運転を終了したことにより、女川原子力発電所全体の出力は、217万4千kWから、女川1号機分の52万4千kWを差し引いた165万kWに変更となりました。

女川1号機は、当社として初めて手掛けた原子力発電所であり、1968年に建設地点として計画を公表して以降、地域の皆さまをはじめとする多くの皆さまに支えられながら、当社における電力の安定供給の一翼を担ってきました。半世紀もの長きにわたり、多大なご尽力を賜りました関係者の皆さま、そしてご理解とご協力をいただきました地域の皆さまに、改めて深く感謝を申し上げます。

当社といたしましては、今後、原子炉等規制法に基づく手続きである廃止措置計画認可申請^{※2}に向けて、引き続き、検討・準備を進めるとともに、安全確保を最優先に、女川1号機の廃止措置に取り組んでまいります。

【届出の内容】

《女川原子力発電所の各号機の出力》

	変更前	変更後
女川1号機	52万4千kW	-(廃止)
女川2号機	82万5千kW	82万5千kW
女川3号機	82万5千kW	82万5千kW
合計	217万4千kW	165万kW

※1 発電事業変更届出書
発電用の電気工作物について、設置場所、原動機の種類、周波数及び出力に変更があったときは、電気事業法に基づき、遅滞なく経済産業大臣に届出する必要があります。

※2 廃止措置計画認可申請
プラントの解体工事を行うためには、原子炉等規制法に基づき、施設の解体方法、核燃料物質の管理・譲り渡し、廃棄物の管理・廃棄方法に関することなどについて記載した廃止措置計画を、あらかじめ原子力規制委員会に申請し、認可を受ける必要がある。

《「東北電力図画コンクール」入賞作品決定》 ～入賞された皆さま おめでとうございます～

女川原子力発電所では、未来を担う子どもたちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをさせていただきたいという思いから、毎年、小学生以下の児童の皆さんを対象とした「東北電力図画コンクール」を開催しています。

17回目となる今回は、過去最高となる5,546点もの作品をお寄せいただきました。最終審査の結果、甲乙つけがたい力作の中から最優秀賞1点、優秀賞7点を含む37点の入賞作品が決定し、昨年12月15日に表彰式を行いました。

なお、女川町、石巻市、東松島市の3会場において、一次審査を通過した200点の作品展を開催します。お誘い合わせのうえ、ぜひお越しください。



表彰状を受け取る入賞者



「第17回東北電力図画コンクール」表彰式を開催

作品展会場および日程

○女川町役場エントランスホール 期間：1/25(金)～2/3(日) 各日8:30～17:00	○石ノ森萬画館(石巻市) 期間：2/9(土)～2/13(水) 各日9:00～17:00 ※休館日：2/12(火)	○蔵しっくパーク(東松島市) 期間：3/9(土)～3/14(木) 各日9:00～17:00 ※休館日：3/11(月)
--	--	--

※「発電所だより」2月号では、最優秀賞および優秀賞に選ばれた作品をご紹介します予定です。

《『ワークショップ&PRセンター見学会』開催のお知らせ》

女川原子力PRセンターでは、「ポップリ作り」や「スペインタイル作り」などが楽しめる『ワークショップ&PRセンター見学会』を開催します。

皆さまからのたくさんのお申し込みをお待ちしております。

参加者募集

ポップリ作り 2/9(土) 10:00～13:00 お申し込み締切日 1/30(水) 	スペインタイル作り 2/19(火) 10:00～13:00 お申し込み締切日 2/5(火) 	アロマ缶作り 2/24(日) 10:00～13:00 お申し込み締切日 2/10(日) 	スペインタイル作り 3/2(土) 10:00～13:00 お申し込み締切日 2/16(土)
--	---	---	---

開催内容 (各回共通) **募集人数** 各回15名 **参加費** 500円/人 **会場** 女川原子力PRセンター

応募者多数の場合 抽選 **無料シャトルバス運行** **行き** 女川駅(9:10発)→PRセンター(9:50着) **帰り** PRセンター(13:10発)→女川駅(13:50発)
《各回PRセンター館内のご案内》

お申し込み方法 お電話またはPRセンター受付でお申し込みをお願いいたします。お申し込みの際には、以下の内容を確認いたします。

- 参加希望日
- 郵便番号
- 住所
- お名前
- 年齢・性別
- 電話番号
- 職業
- 無料シャトルバスご利用の有無(女川駅～PRセンター往復)

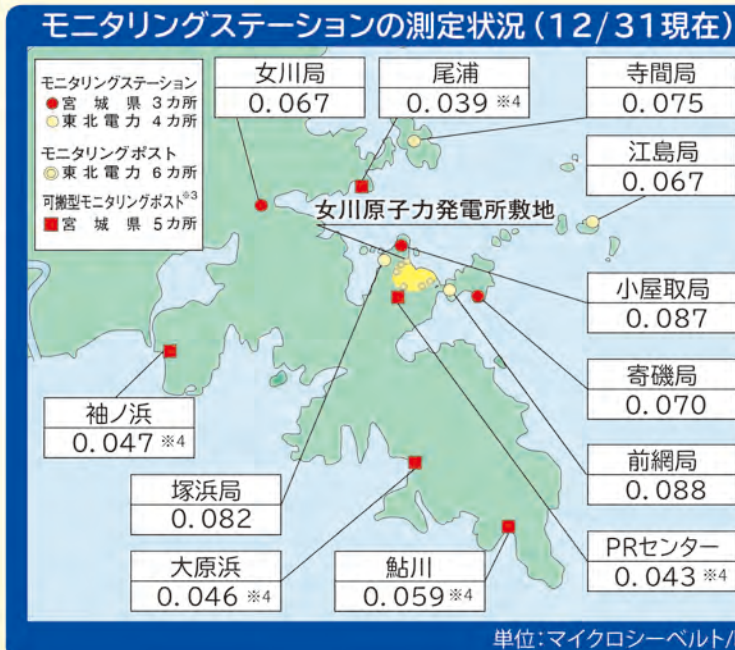
※抽選結果については、開催日の一週間前を目途に、当選ハガキの発送をもってお知らせします。連絡がない場合は落選となりますのでご了承ください。

お問い合わせ お申し込み **女川原子力PRセンター** 電話番号:0225-53-3410
住所:牡鹿郡女川町塚浜字前田123 開館時間:9:30～16:30 休館日:1/21(月)

《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.048マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



(参考)モニタリングポストの最小値と最大値

〈東北地方太平洋沖地震発生日〉		
2011年3月11日	0.027～0.064	
〈地震発生後最大値〉		
2011年3月13日	1.8～21 ※4 ※5	
〈地震発生以降毎年度(4/1)の値と至近値〉		
2012年4月1日	0.063～0.098 ※4	
2013年4月1日	0.055～0.076 ※4	
2014年4月1日	0.046～0.065 ※4	
2015年4月1日	0.043～0.077 ※4	
2016年4月1日	0.041～0.061 ※4	
2017年4月1日	0.038～0.059 ※4	
2018年4月1日	0.037～0.048 ※4	
2018年12月1日	0.037～0.049 ※4	
2018年12月31日	0.037～0.048 ※4	

単位:マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されています。
 ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
 ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
 ※4 モニタリングポストや可搬型モニタリングポストの測定値は、宇宙線(宇宙空間を飛び交う高エネルギーの放射線)の影響分が含まれないため、モニタリングステーションの測定値より0.02～0.04マイクロシーベルト/時程度低い測定値となっています。
 ※5 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。